

調査概要

1. 調査期間 2018年9月18日(火)~10月5日(金)
2. 調査対象 札幌商工会議所定期景気調査 登録企業626社
3. 回答状況 321社 (回答率 51.3%)
4. 調査項目
 - ① 9月の景況感(売上・採算等)と先行き見通しについて
 - ② 付帯調査…2018年度の所定内賃金の動向
 - ③ 付帯調査…2018年7月以降の金融機関の貸し出し姿勢について

5. 回答企業属性

業種					資本金					従業員					
サービスその他	建設	卸売	製造	小売	1千万円以下	1千万円超~5千万円以下	5千万円超~1億円以下	1億円超~3億円以下	3億円超	5人以下	6~20人	21~50人	51~100人	101~300人	301人以上
42.1%	20.9%	16.2%	13.1%	7.8%	32.1%	44.9%	10.3%	2.2%	10.6%	11.8%	28.0%	29.3%	10.9%	12.1%	7.8%

① 9月の景況感と先行き見通しについて

※ ● 9月DI ◆ 先行きDI

※DI値について…ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
※先行き見通しDI=当月(9月)と比べた、向こう3ヶ月(10月~12月)の先行き見通し

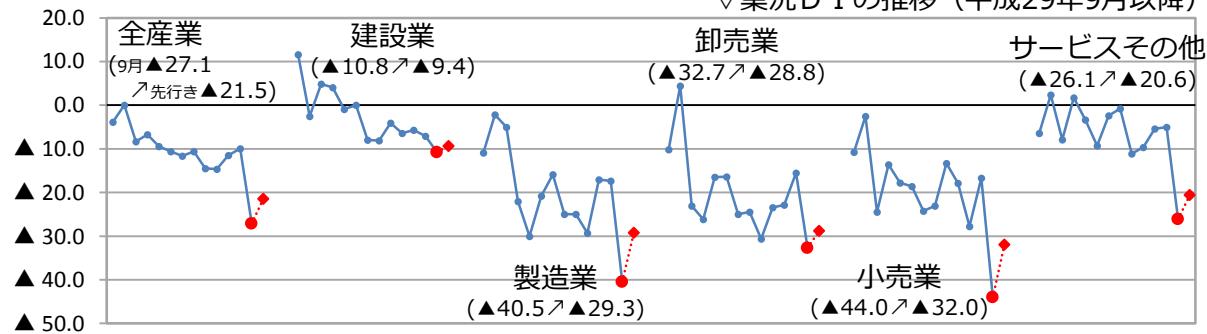
【例】業況DI = $\frac{(\text{好転}-\text{悪化}) \times 100}{(\text{好転} + \text{不変} + \text{悪化})}$

「売上DI」「採算DI」が大幅に悪化し、9月6日発生の北海道胆振東部地震の影響が窺える結果となった。

1) 9月の業況DIと先行き見通し

業況DIは▲27.1と前月から▲17.2ポイントの悪化。先行きDIは▲21.5と改善を見込む。

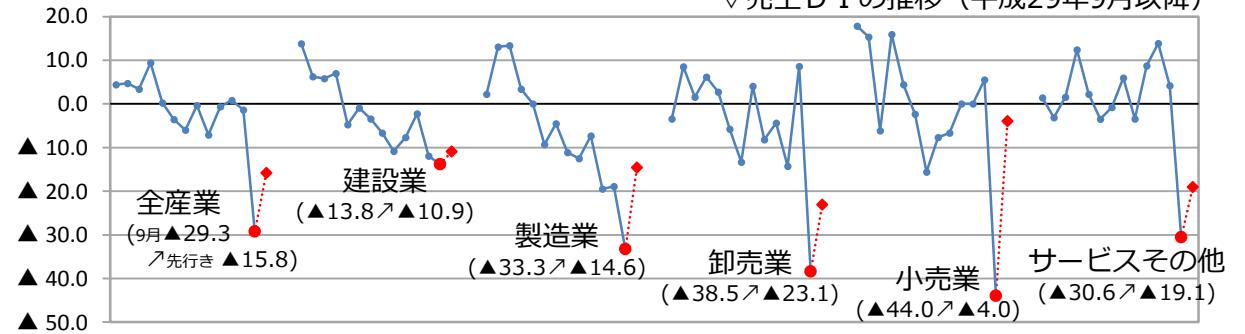
▽業況DIの推移(平成29年9月以降)



2) 9月の売上DIと先行き見通し

売上DIは▲29.3と前月から▲28.0ポイントの減少。先行きDIは▲15.8と増加を見込む。

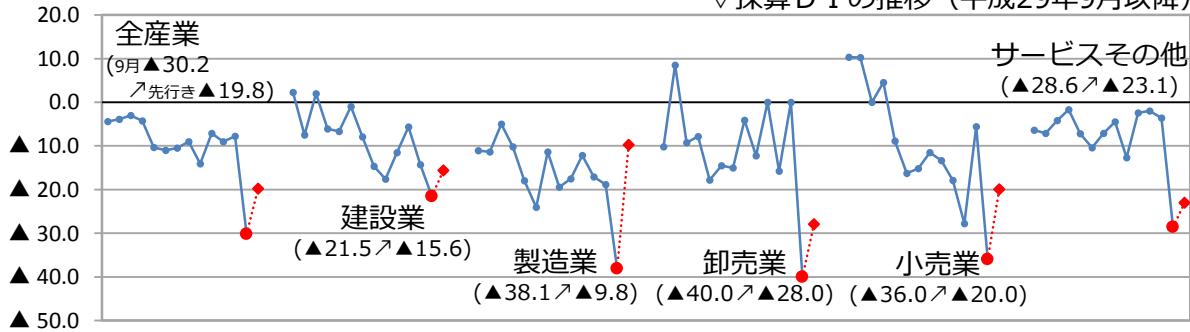
▽売上DIの推移(平成29年9月以降)



3) 9月の採算(経常利益)DIと先行き見通し

採算DIは▲30.2と前月から▲22.4ポイントの悪化。先行きDIは▲19.8と改善を見込む。

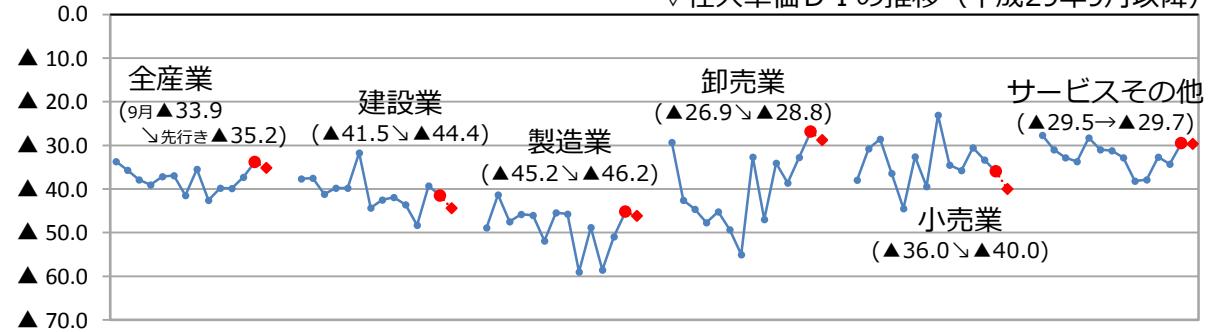
▽採算DIの推移(平成29年9月以降)



4) 9月の仕入単価DIと先行き見通し

仕入単価DIは▲33.9と前月から3.4ポイントの増加で、価格上昇を訴える企業の割合が減少した。先行きDIは▲35.2と単価の上昇を見込む。

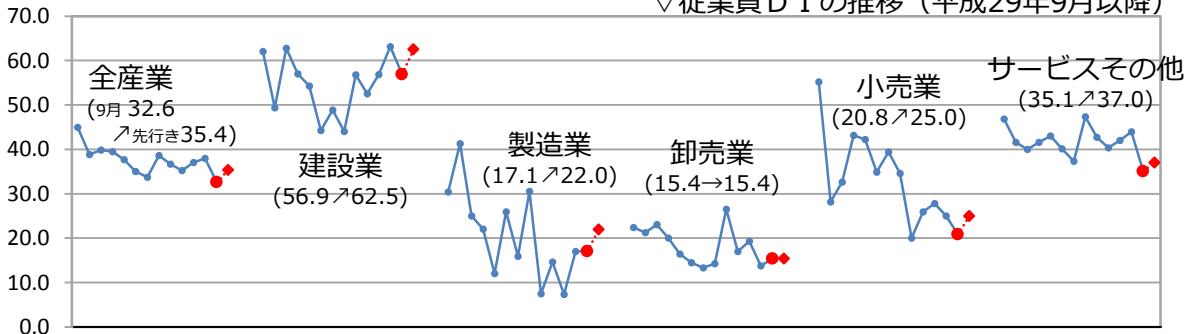
▽仕入単価DIの推移(平成29年9月以降)



5) 9月の従業員DIと先行き見通し

従業員DIは32.6と前月から▲5.4ポイントの減少で、人手不足感は弱まった。先行きDIは35.4と人手不足感は強まる見通し。

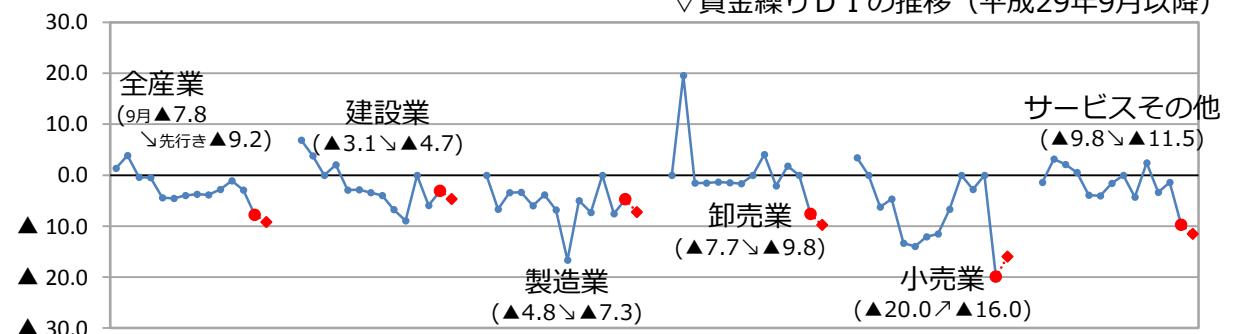
▽従業員DIの推移(平成29年9月以降)



6) 9月の資金繰りDIと先行き見通し

資金繰りDIは▲7.8と前月から▲4.9ポイントの悪化。先行きDIも▲9.2と悪化の見通し。

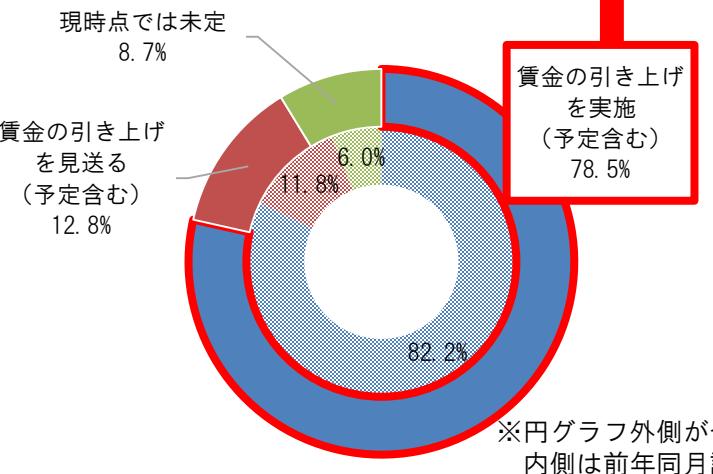
▽資金繰りDIの推移(平成29年9月以降)



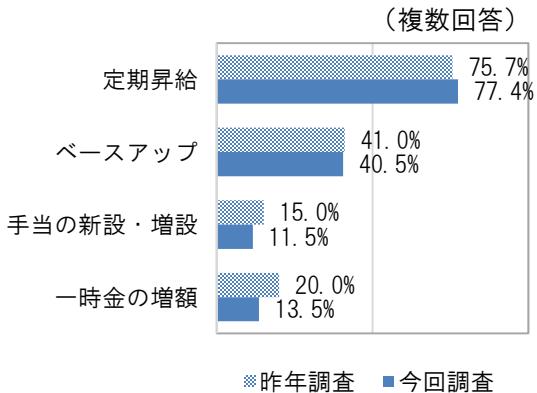
② 2018年度の所定内賃金の動向について

- 2018年度の所定内賃金の動向について、「賃金の引き上げを実施(予定含む)」と回答した企業は78.5%と、昨年調査時と比較して、3.7ポイント減少した。賃上げの内容は、「定期昇給」が77.4%と最も多かった。
一方、「賃金の引き上げを見送る(予定含む)」と回答した企業は12.8%と、昨年より1.0ポイント増加した。
- 2018年夏の一時金を「支給した」と回答した企業は、85.3%と昨年調査時と比べて、ほぼ同水準で推移したが、「増額した」と回答した企業の割合は昨年より3.7ポイント減少し、「減額した」と回答した企業の割合は3.4ポイント増加した。
- 賃金の引き上げを実施(予定含む)と回答した企業の内、賃上げを行う理由として「人材確保・定着やモチベーション向上のため」と回答した企業の割合は87.8%と、圧倒的に多くの割合を占めた。
- 賃金の引き上げを見送る(予定含む)・現時点では未定と回答した企業の内、賃上げを見送る・未定とする理由として「今後の経営環境・経済状況が不透明なため」と回答した企業が71.4%と、圧倒的に多くの割合を占めた。

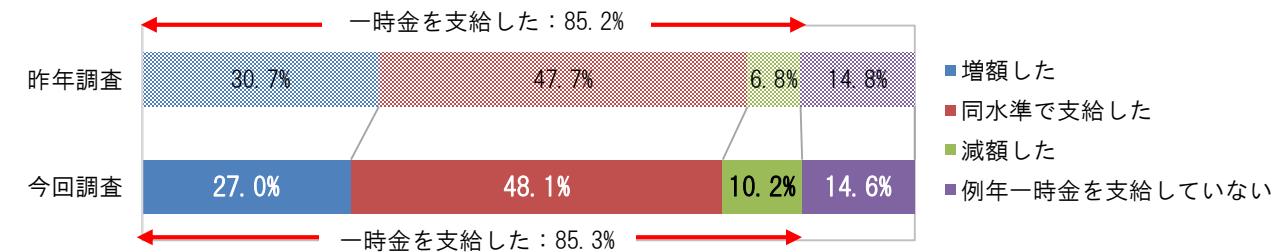
【今年度の所内低賃金の動向について】



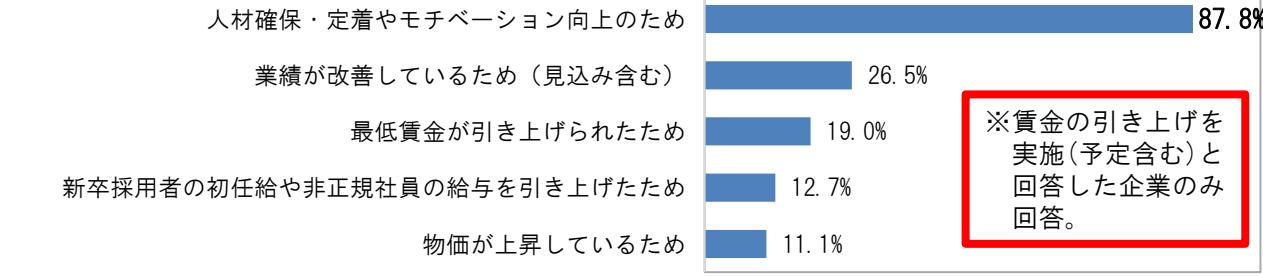
【賃上げの内容】



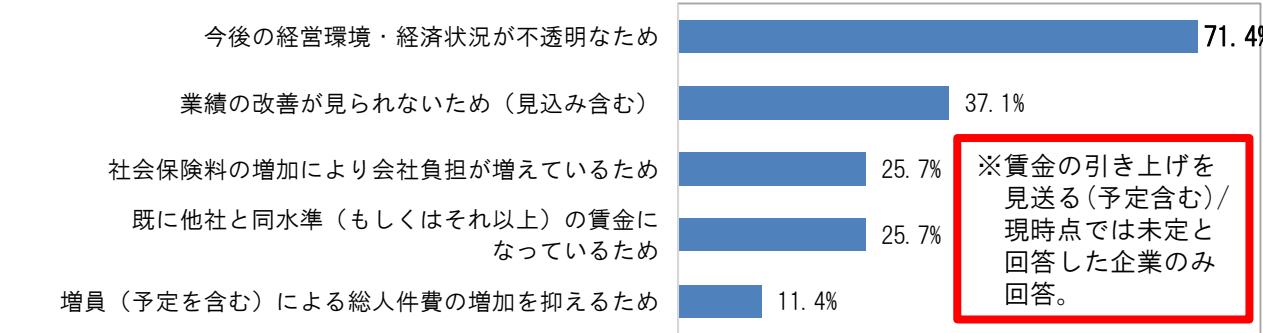
【昨夏と比較した今夏の一時金動向について】



【正社員の賃上げを行う理由】



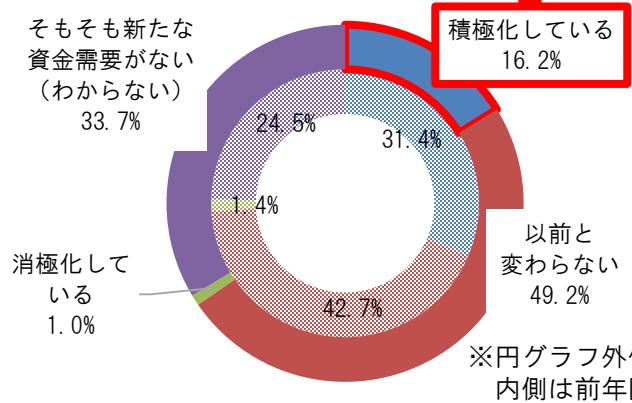
【正社員の賃上げを見送る・未定とする理由】



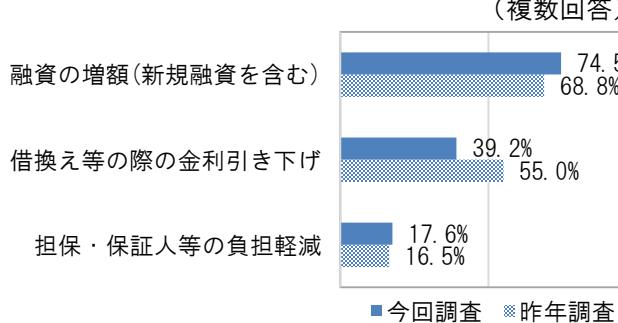
③ 2018年7月以降の金融機関の貸し出し姿勢について

- 2018年7月(日銀の政策修正)以降の金融機関の貸し出し姿勢について、「積極化している」と回答した企業は16.2%と昨年調査時(マイナス金利政策導入後)と比較して15.2ポイント減少した。一方、「以前と変わらない」「そもそも新たな資金需要がない(わからない)」と回答した企業は、昨年よりそれぞれ6.5ポイント、9.2ポイント増加した。

【金融機関の貸出姿勢について】



【積極化している具体的内容】



会員の声

- 非常用災害備蓄をある程度確保していたが、北海道胆振東部地震では想定外の停電により、新たな災害備蓄の必要性を認識した。これらの調達と、耐震を考慮した自社ビルの改修計画を立案しなければならない。 …【冷暖房設備工事業】
- 札幌市内工業高校生を対象に3年前からインターンシップの受け入れをしてきたが、2名の高校生が来春入社してくれることになった。定期的に生徒へアプローチすることが重要だと感じた。一方、面接を経て内定を出した大学生4名は全員が辞退という結果となった。 …【一般管工事業】
- 物流費が大幅に値上げとなり、本来であれば乗じて納品単価の値上げを行うべきだが、値上げに伴うコストが大きく、全ての商品に対して値上げしきれず、増えた分のコストを埋めきれない状況。 …【菓子製造業】
- 慢性的な人手不足から、特に工場の作業要員が不足している。 …【コンクリート製品製造業】

- 売上低迷の原因は、官公庁の研究資金の減少、特に国公立大学研究資金(科学研究費等)の減少に伴う基礎研究等の低迷にある。 …【薬品・機器販売】
- 台風や地震の影響による、1次産業の低迷や観光客減少により北海道経済全体の停滞が懸念される。 …【卸売業】
- 台風や胆振東部地震により、北海道全体の消費者の購買意欲が衰えているように感じる。 …【小売業】
- 北海道胆振東部地震により旅行業界は打撃を受けている。弊社は今のところ、それほど大きな影響はないが、今後冬のシーズンまで尾を引くのか不安である。 …【旅行業】
- 例年、最低賃金の引き上げによる従業員の時給アップから、所謂103万の壁などによる、1人当たりの実働時間が減少し、採用が厳しい中、人手不足に拍車をかけている。 …【飲食・サービス業】